



28. 10. 21  
統合幕僚監部

平成28年度日米共同統合演習（実動演習）  
「K e e n S w o r d 1 7 / 2 8 F T X」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり平成28年度日米共同統合演習（実動演習）を実施します。

記

1 演習の目的

武力攻撃事態及び武力攻撃予測事態における島しょ防衛を含む自衛隊の統合運用要領及び米軍との共同対処要領並びに重要影響事態における対応措置要領を演練し、その能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

平成28年10月30日（日）～11月11日（金）

3 実施場所

我が国周辺海空域、自衛隊基地及び在日米軍基地並びにアメリカ合衆国グアム、北マリアナ諸島自治連邦区及びその周辺海空域等

4 統裁官

- (1) 自衛隊： 統合幕僚長 海 将 河野 克俊
- (2) 米 軍： 在日米軍司令官 空軍中将 ジェリー P. マルティネス

5 主要演練項目

- (1) 水陸両用作戦
- (2) 複合的な経空脅威への対処
- (3) 日米共同による空域及び海域を防衛するための作戦
- (4) 重要影響事態における搜索救助活動

6 演習参加部隊等

(1) 自衛隊

- ア 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部
- イ 陸上自衛隊  
各方面隊、中央即応集団等
- ウ 海上自衛隊  
自衛艦隊、佐世保地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団等

オ 共同の部隊及び機関

自衛隊指揮通信システム隊、自衛隊中央病院及び自衛隊呉病院

(2) 米 軍

在日米軍司令部、第5空軍、在日米海軍、在日米陸軍、第3海兵遠征軍及び第7水陸両用艦隊等

(3) その他

英軍、豪軍、加軍及び韓国軍からオブザーバー参加を受け入れ予定

7 演習参加規模

(1) 自衛隊：人員約25,000名、艦艇等約20隻、航空機約260機

(2) 米 軍：人員約11,000名

8 その他

日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今年度で13回目である。

【問い合わせ先】

統合幕僚監部 副報道官 水関3佐

(03 (3268) 3111 内線：30056)